

保護者各位

鳥栖市立鳥栖西中学校
校長 日吉 敬子

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和5年度全国学力・学習状況調査について

令和5年4月18日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、①と②が一体的に問われています。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」ともに全国の平均正答率を大きく上回っており、特に自分の考えを書き表す力の定着がうかがえます。
- ・評価の観点については、「知識・技能」の「言葉の特徴や扱いに関する事項」が、全国の平均正答率を下回っており、語彙力について課題が見られました。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく下回っていました。
- ・評価の観点については、「知識・技能」は全国の平均正答率を下回っており、「思考・判断・表現」は全国の平均正答率を大きく下回っていました。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる問題については、全国の平均を大きく上回っており、定着がうかがえました。
- ・累積度数の意味を理解しているかどうかをみる問題と、問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる問題については、全国の平均正答率を上回っており、定着がうかがえました。

(3) 英語について

- ・全体の平均正答率は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の全ての観点において、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・特に、文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる問題（正しい接続詞を選ぶ問題）や、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる問題では、全国の平均正答率を大きく下回っており、課題が見られました。
- ・無解答率については、ほとんどの問題で全国平均よりも低く、あきらめずに取り組もうとする姿勢が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

主な項目について、全国との比較は次のとおりです。

番号	項目	本校 (%)	全国 (%)
1	自分には、よいところがあると思いますか。	94.5	91.2
2	将来の夢や目標を持っていますか。	67.0	66.3
3	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	69.8	63.9
4	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.6	94.6
5	朝食を毎日食べていますか。	94.5	91.2
6	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	77.0	78.0
7	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	94.5	91.3
8	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	99.4	95.5
9	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	84.7	77.6
10	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※2時間以上と答えた生徒の割合	23.6	33.7
11	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※2時間以上と答えた生徒の割合	9.8	18.3

- ・1～3番から、全国平均に比べ自尊感情が高く、地域や社会に貢献しようとする生徒が多い傾向が分かります。
- ・4～7番から、多くの生徒が朝食を摂取しており、早寝早起きなど基本的な生活習慣の確立も全国平均以上にできていることが分かります。
- ・8,9番から、違いを受け入れていじめを許さないという生徒の割合が、全国平均を上回っていることが分かります。
- ・10,11番から、家庭で2時間以上学習している生徒の割合が、全国平均を大きく下まわっていることが分かります。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・すべての教科で、知識・技能の習得と教科の特質に応じた思考力・判断力・表現力の育成をめざした授業改善に努めます。
- ・3年生では放課後の時間に、週に2回、外部講師による英語と数学の補習授業を行い、基礎・基本の定着に力を入れます。
- ・1時間の授業の流れを統一し、電子黒板やタブレット PC などの ICT 機器の利活用を図り、授業のユニバーサルデザイン化に取り組みます。
- ・英語科では以下のことにも取り組みます。
 - ・書き取り練習や小テスト等の実施による基本単語の定着の徹底に取り組みます。
 - ・文法を意識しながらの Input 活動、Output 活動を積極的に行い、その実施後に、発話した英語を書いて添削を行うなど、正しい語順の定着に取り組みます。
 - ・書かれた英文を粘り強く理解する方策の指導を行います。
- ・その他に、ご家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 土日を含め、家庭での学習時間の確保に取り組みましょう。

◎学習する時間帯、場所と内容を自分で決め、机につく学習習慣を身に付けさせましょう。

◎SNSやインターネットなどを利用する時間は、親子で利用時間を決め、守らせましょう。

2 お子さんとのコミュニケーションの時間をもちましょう。

◎学校での出来事や読んでいる本の内容等、お子さんと話をしましょう。

3 がんばっていることやよくできたことを認めて、お子さんの自尊感情を高めましょう。

◎お子さんの努力やがんばりを具体的に認め、励ますことで、やる気を育てましょう。